



NotoSatoumi
Movement
〈能登の里海ムーブメント〉



UNITED NATIONS
UNIVERSITY

UNU-IAS

Institute for the Advanced Study
of Sustainability

第2回「能登の里海」シリーズ講座

里海資本論から考える 穴水湾・里海ムーブメント

- 日 時：平成27年8月29日（土）13:00–15:30（受付12:30～）
場 所：さわやか交流館プルート（穴水駅前、石川県鳳珠郡穴水町川島ら174）
主 催：穴水町、国連大学サステナビリティ高等研究所
いしかわ・かなざわオペレーティング・ユニット（UNU-IAS OUIK）
共 催：世界農業遺産活用実行委員会
言 語：日本語
参加登録：参加無料、一般公開
参加ご希望の方は、お名前とご連絡先（E-mail アドレスまたは電話番号）を記載のうえ、
「8月29日里海講座参加希望」と明記し、FAX または E-mail にてお申し込みください。



国連大学サステナビリティ高等研究所

いしかわ・かなざわオペレーティング・ユニット（UNU-IAS OUIK）

Email: unu-iasouik@unu.edu

Fax: 076-224-2271

開催趣旨

国連大学サステナビリティ高等研究所いしかわ・かなざわオペレーティングユニット (UNU-IAS OUIK) と穴水町は、8月29日(土)石川県穴水町で「里海資本論から考える穴水湾・里海ムーブメント」をテーマとした第2回「能登の里海」シリーズ講座を開催します。

穴水湾は、大小多数の岬と入江から形成されており、その小さな湾の多くには漁港があります。穴水の人々は、漁業を営むとともに、後背地で田畑を耕し、半農半漁の生活を送ってきました。古くから多様な漁業が盛んな穴水湾では、世界農業遺産の認定を一つのきっかけに、里海の自然資本を活かした里海づくりの活動、いわゆる里海ムーブメントが動き出しています。

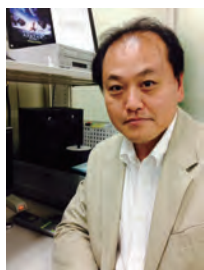
本講座では、「里山資本主義」と「里海資本論」の著者で長年広島をはじめ中国山方や瀬戸内海の里山里海取材してきたNHK報道マンの井上恭介氏、穴水町の伝統漁法の「ボラ待ちやぐら」のボラ漁の復活に取り組む「新崎・志ヶ浦地区里海里山推進協議会」の岩田正樹氏を講師としてお招きし、穴水町で活躍している関係者等と共に、それぞれの経験から里海めぐみを活かした穴水湾の里海づくりについてお話しいただき、地域の生業づくりに里海が果たしている役割や、それらの生業を通じて保全されている里海の魅力を発信したいと考えています。

なお、本講座は、UNU-IAS OUIKが実施している「能登の里海ムーブメント」の啓発活動の一環として開催しています。「能登の里海ムーブメント」とは、里海概念や、「能登の里海」の魅力と里海に関わる生業について、県内外の方々に、より深く理解していただけるよう情報を発信していくとともに、能登地域を日本海の里海の研究と保全活動をリードする拠点として定着させていくための取り組みであり、この取り組みを通して、「能登の里海」の国内外における認知度を高め、里海における生業の振興に繋がりたいと考えています。

プログラム

- 13:00-13:10 「穴水湾の里山里海」の映像紹介
13:10-13:15 開会挨拶 永井 三岐子 (UNU-IAS OUIK 事務局長)
13:15-13:55 講義①『里山資本主義』と『里海資本論』を総動員して穴水で“楽しく暮らす”
井上恭介 (NHKエンタープライズ エグゼクティブ・プロデューサー)
13:55-14:25 講義②「ぼら漁の復活について」岩田正樹 (新崎・志ヶ浦地区里海里山推進協議会会長)
14:25-14:30 「『能登の里海』ムーブメント」イヴォーン・ユー (UNU-IAS OUIK 研究員)
14:30-14:45 休憩
14:45-15:25 パネルディスカッション
モデレーター：イヴォーン・ユー
パネリスト：中山誠基 (NPO「田舎時間」)、井上恭介、岩田正樹
15:25-15:30 閉会の言葉：穴水町

講師・パネリスト



井上 恭介

(いのうえ きょうすけ)

NHKエンタープライズ エグゼクティブ・プロデューサー

1987年東京大学法学部卒業、NHK入局。報道局・大型企画開発センター・広島局などを経て、現職のディレクター、プロデューサーとして、一貫して報道番組の制作に従事。主な制作番組にNHKスペシャル「お願い 告知ラセ下サイ〜ヒロシマ・あの日の伝言〜」(集英社新書から「ヒロシマ 被爆の伝言」として書籍化)、「マネー資本主義」(新潮文庫から同名書籍化)、「里海S A T O U M I 瀬戸内海」(7月10日に角川新書から「里海資本論」として書籍化)などがある。広島で中国地方向けに放映した番組をまとめた角川新書「里山資本主義」は40万部を超えるベストセラーに。

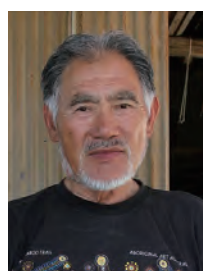


中山 誠基

(なかやま せいき)

NPO 田舎時間代表

日本に憧れた帰国子女。定期的に帰れる田舎を探して日本全国を農作業のお手伝いで巡る。穴水には2005年3月に初訪問し、里海里山の豊かさや、共に暮らす人々の温かさに惹かれ、以降、田植え、ハザ建て、稲刈り、キリコ祭りや牡蠣養殖・収穫といった作業体験、労働力として10年間で20回近く穴水を訪れている。週末は田舎で農家さん、漁師さんのお手伝いをし、平日は東京でITとインタラクティブ広告の仕事を手がける、食とITを軸に田舎と都市の両棲類を実践しながら、自然からの学び、未来の食べ方、生き方、働き方を模索している。2002年設立したNPO「田舎時間」は石川県穴水町と山形県上市市が主な活動拠点。



岩田正樹氏

(いわた まさき)

新崎・志ヶ浦地区里海里山推進協議会会長

穴水町新崎出身。穴水町新崎・志ヶ浦地区里海里山推進協議会会長。平成21年8月に協議会を設立し、朱鷺の棲める里を目指し里海里山景観保全活動を開始する。穴水町の伝統漁法である「ぼら待ち樽漁」が平成8年以降途絶えていたことから、平成23年に協議会が中心となり「ぼら待ち樽」の復元に成功し、平成25年にはぼら漁の復活を果たすなど、中心的な立場で里海の再生活動に取り組んでいる。



イヴォーン・ユー

UNU-IAS OUIK 研究員

シンガポール出身。13年前に沖縄県費留学生として初来日し、その後シンガポール政府国家公務員を経て今年で来日通算9年目を迎えます。2011年の夏にUNU-IAS OUIKのインターンを経験した縁で2012年秋、国連大学に入所しました。現在はUNU-IAS OUIKの研究者として、能登の世界農業遺産(GIAHS)の保全、能登の里山里海資源の持続的な利用について研究と保全活動に取り組んでいます。東京大学大学院農学生命科学研究科農学国際専攻博士課程(国際水産開発専門)に在籍中。